

11/29 朝日

オミクロン株確認次々 英に続き独伊、豪州も

オミクロン株などの見方を示している。これらの乗客は隔離されている。分析結果は28日に出る見通しだと

南アフリカで検出された新型コロナウイルスの新しい変異株「オミクロン株」が、欧州をはじめ、世界各地で相次いで確認される。英国がマスク着用を義務化する方針を決めるなど規制を再び強化する動きも始めた。

▼国際面＝なぜオミクロン

英國では27日、感染者が2人確認された。アフリカ南部への渡航と何らかの関連があるといい、2人と、その同居人はすべて自主隔離に入った。

海外からの全渡航者は今後、入国から2日後までにPCR検査を受け、陰性の結果が出るまでの自主隔離が義務づけられる。人口の8割超を占めるイングランドの公共交通機関や店舗内でのマスク着用の義務化も復活する。ジョンソン首相は記者会見で「オミクロンは非常に急速に広がり、ワクチンを2度接種した人の間でも感染する可能性がある」とが判明した」と述べた。

ドイツでも27日、南部バイエルン州で2人の感染が確認された。2人は24日、南アフリカからミュンヘン

空港に到着。PCR検査で陽性が確認され、自宅で隔離されているという。

ドイツは政権移行期にあら、予防接種の義務化や行動制限の強化など、早急な対処を求める声が上がっている。近くマルケル氏から首相を引き継ぐ見通しのショルツ財務相は27日、ツイッターに「必要なことは何でもする」と投稿した。

イタリアでは27日、北部ミラノ近郊の空港にモザン

ビークから今月突つた男性がオミクロン株に感染していたことが分かった。男性はワクチンを2度接種してはいたといい、症状は軽いと

欧州ではほかに、オランダの保健当局が27日、南アフリカから26日に到着した61人が新型コロナウイルスの検査で陽性となり、オミクロン株かどうかの分析を進めている、と発表。オランダ保健当局は、一定数が

以降、イスラエル政府が例外的に認める場合を除いてすべての外国人の入国を禁止する。ワクチン接種を受け、原則としてすべての外国人の受け入れを2週間禁止することを決めた。イスラエルでは11月からワクチ

ン接種者を対象に観光客の受け入れを再開したばかりだったが、大きな方針転換となつた。

決定によると、28日深夜に到着した2人が、オミクロン株に感染していたことが28日分かった。2人はワクチン接種済みで、無症状だった。シドニーのあるニューサウスウェールズ州はアフリカ南部9カ国からの到着客について、ワクチン接種の有無にかかわらず、14日間のホテルでの隔離を義務化している。

(金成隆)=ロンドン、野島淳一(ベルリン)、大室一也(ローマ、青田秀樹)=ブリュッセル、西村宏治)

イスラエル禁止 全外国人の入国

イスラエルは27日、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」の感染者が確認されたことを受け、原則としてすべての外国人の受け入れを2週間禁止することを決めた。

以降、イスラエル政府が例外的に認める場合を除いてすべての外国人の入国を禁止する。ワクチン接種を受け、原則としてすべての外国人の受け入れを2週間禁止することを決めた。

イスラエルではこれまで、「我々の仮説は、変異株（オミクロン株）はほとんどすべての国に広がっている」ということだ」と説明した。

イスラエルではこれまで、アフリカ南部のマラウイから入国した女性1人にオミクロン株の感染が確認されている。地元メディアによると、イスラエル保健省は、海外から帰国した人々7人にも感染の疑いがあるとしている。イスラエルでは3回目の新型コロナのワクチン接種を進めておりが、7人中4人は3回目の接種をしていなかつたとい

う。(エルサレム=清宮涼)